

# 主体的な学びを支える学習指導

## 1 学校研究計画

### (1) 研究主題

仲間とともに学び合い、夢に向かって努力できる子どもの育成  
～ 共同の学びとキャリア教育の取り組みを中心に ～

### (2) 主題設定について

新庄市では、小中における教育の連続性と円滑な継続を図るため、平成18年度より、小中一貫教育をすすめている。この結果、中学1年生の不登校傾向の減少、中学校の落ち着いた学習環境の整備などの成果が表れてきている。かねてより、八向学区でも、「八向の子は9年間で育てる」の言葉のもとに、小中連携、小小連携の取り組みをしてきた。

この度、平成24年度、25年度の2年間にわたり、新庄市小中一貫教育実践研究指定校の委嘱を受け、八向中学校、本合海小学校と共に研究を進めていくこととなった。委嘱事項及び実践研究内容は、以下のとおりである。

- (1) 相互の授業交流や9年間を見通した指導計画編成等による基礎学力の充実
- (2) 小中一貫した生徒指導を中核に据えた「こころの教育」の展開
- (3) 地域の特性を生かした教育活動の創出と特色ある学校づくりの推進

上の内容を受け、さらに地域の願い、児童生徒の実態等を考慮し、上記の研究主題を設定した。また2年間で到達を目指して育成する子ども像を以下のように考えた。

- 自分の考えを持ち、進んで行動できる子ども（自立）
- 他者を尊重し、共に生活・学習することができる子ども（共生）
- めざすものを持ち、学び続ける子ども（学び）

### (3) 本校の研究との関連

#### ① 基本方針

「夢に向かって努力できる子ども」を育てるために9年間通した中で意図的、継続的に指導を行っていく。スタートを小1と考えれば中3がゴールと考える。小学校では、「進路の探索・選択にかかる基盤形成の時期」として、その途中の時期と考える。

そして 授業の中で「仲間とともに学び合い」ながら「夢に向かって努力できる子ども」を育てることを実践していく。つまり、キャリア教育を小中一貫した内容で実践していく上でその基盤となる授業づくりとして、「協同的な学び」がある。

キャリア教育の目標を「社会的自立・職業的自立に向けて必要な意欲・態度や能力の育成」ととらえるならば、各教科、道徳、総合、学級活動等の授業において、これまでもキャリア教育を行ってきた。そこで9年間を一貫して指導できるように年間計画を作成し教科、領域等横断的、計画的に指導できるようにしていく。さらに、八向中学校区における小中のキャリア発達課題を明確にし、めざす子どもの姿に向かって重点的に指導をしていく。